

第 2 回 平沢小学校・院内小学校統合準備委員会 学校生活部会 記録

令和 8 年 8 月 19 日

18:00~19:30

平沢小学校

記録:院内小教頭

1 統合に伴う学童保育(放課後児童クラブ)の適正配置と今後の方向性について

報告:こども家庭センター

(1) 現状と課題

- 対象施設:平沢小対象「仁賀保学童」、院内小対象「院内学童」「小出学童」の計 3 箇所。
- 利用状況:
 - 仁賀保学童:増加傾向(定員上限付近で推移)。
 - 院内学童:約 15 人前後で推移。
 - 小出学童:5~7 人程度で推移。

※今後の就学児童数減少に伴い、全体として減少傾向となる見込み。

(2) 集約方針(案)

- 施設数:学校統合時(令和 10 年度)に合わせて 3 箇所から 2 箇所へ集約。
 - 「院内学童」と「小出学童」を 1 箇所に統合。
 - 「仁賀保学童」は現状のまま 1 箇所で継続。
- 受入対象:仁賀保学童は旧平沢小児童、院内・小出集約学童は旧院内小児童を当面受け入れ(将来的には 1 箇所への集約も検討)。
- 集約のメリット:
 - 一定の集団規模確保による多様な体験・社会性の育成。
 - 支援員・指導員の人材確保および労働環境の改善。
 - 老朽化施設の維持管理・設備更新コストの抑制。
 - 災害・熊出没時などの安全確認・連絡体制の一元化。
 - 学校との円滑な連携。
- 留意点・今後の対応:
 - 定員増や送迎負担増に対する配慮(適切なスペース・人員確保、スクールバス運行との連携)。
 - 令和 8 年度中を目途に方針を決定し、保護者・運営団体への説明会を実施予定。

(3) 主な意見交換

- 委員:院内線・小出線の両便が学童を経由する運行計画にしないと、小出地区の児童が院内の学童を利用しにくくなる。運行ルートと利用希望者数の事前把握が必要。
- 担当課:学童利用者の住所や人数を勘案し、スクールバスの運行計画・時刻表へ反映させていく。

2-1 通学に関すること:平沢小学校周辺 スクールバス乗降場所の検討

報告:教育総務課(山田課長)

(1) 候補地一覧と評価

① 北門付近(赤)

- 概要:校舎玄関に近い。
- 課題:前面道路が狭く交通量が多い。バス停車時にバック(スイッチバック)が必要となり、一般車や歩行児童との交差で危険性が高い。

② プール付近(緑)

- 概要:現在保護者送迎・行事用駐車場として利用中。
- 課題:出入口(旧門)や道路幅が狭く段差あり。バス走行レーンを確保すると一般送迎

スペースが大幅に圧迫される。

③ 南門手前・合同タクシー隣接地(黄)

- 概要:十分なスペースを確保可能。
- 課題:私有地のため借地料+舗装等の整備費用+原状回復費用または用地買収費、舗装等の整備費用が最も高額。

④ 児童玄関直前(青)

- 概要:玄関直結で雨風の影響を受けず低コスト。
- 課題:徒歩登校児童とバス進入動線が重複し極めて危険。冬季の積雪・坂道凍結時の運行リスク大。教職員駐車場が減少。

⑤ グラウンド西側(紫)

- 概要:市有地のため借地料不要(進入部整備・舗装工事等は必要)。中型バスの停車・回転スペースおよび道幅の確保が可能。
- ①(グラウンド側):職員室から視認可能だが、野球グラウンド(ライト側)の一部と干渉。
- ②(トイレ側):グラウンドへの影響は軽微だが民家に隣接。

(2) 部会としての結論

- 推薦案:安全面および整備コストを総合的に勘案し、「グラウンド西側(紫/①~②の中間付近)」を第1推薦として全体委員会(31日)へ提案する。
- 付帯事項:冬季の児童登校時の導線(除雪ルートの確保)および出入口の見通し確保について詳細設計を要望。

2-2 スクールバス運行路線案の比較・検討

報告:教育総務課(齋藤)

(1) 運行路線案の比較

- 案1(2路線案)
 - 釜ヶ台・院内線:所要約46分(釜ヶ台発 6:54 → 平沢小着 7:40/乗車予定31人)
 - 小出線:所要約36分(畑発 6:54 → 平沢小着 7:30/乗車予定41人)
- 案2(3路線案:ワンボックスカー(9人乗り)を1台追加)
 - 院内線:所要約28分(畑発 7:02 → 平沢小着 7:30)
 - 小出線:所要約28分(樋ノ口発 7:07 → 平沢小着 7:35)
 - 釜ヶ台線:所要約31分(釜ヶ台発 7:09 → 平沢小着 7:40)
- コミュニティバス活用について:JR 接続ダイヤへの影響および国の補助制度の制約上、学校線への延伸は困難。

(2) 主な協議内容・結論

- 路線の選定:乗車時間の大幅な短縮および児童の負担軽減の観点から、「案2(3路線案)」を強く推薦する。
- 下校時・学童対応の課題:
 - 5時間授業(14:40下校)と6時間授業(15:30下校)の時差下校、全校一斉下校時のピストン運行における待ち時間(約20~30分)の縮小工夫。
 - 小回り車両(ワゴン車等)を活用した学童経路運行の検討。
- 次回対応:下校シミュレーション・待機時間対策を整理し、31日の統合準備委員会へ提出。

3 閉会

- 本部会での集約意見(乗降場所:グラウンド西側、運行路線:3路線案)を8月31日の統合準備委員会全体会に報告することを確認し散会。